

平成 25 年度 第 1 回土木計画学研究委員会幹事会 議事録

日時：平成 25 年 4 月 20 日（土）13：00～16：00

場所：土木学会 A 会議室

■出席者（敬称略，順不同）

委員長：谷口栄一（京都大学）

副委員長：山中英生（徳島大学） 福田 敦（日本大学）

幹事長：兵藤哲朗（東京海洋大学）

学術小委員会委員長：溝上章志（熊本大学）

春大会運営小委員会委員長：柿本竜治（熊本大学）

2013 秋大会開催校代表：内田 敬（大阪市立大学）

委員兼幹事：金子雄一郎（日本大学），紀伊雅敦（香川大学），真田純子（徳島大学），鈴木弘司（名古屋工業大学），塚井誠人（広島大学），日比野直彦（政策研究大学院大学），平田輝満（茨城大学），森尾 淳（計量計画研究所），吉田長裕（大阪市立大学）

オブザーバー：橋本剛志（土木学会事務局）

■配布資料

資料 0：平成 25 年度 第 1 回土木計画学研究委員会幹事会 議事次第

資料 1：平成 24 年度 第 3 回土木計画学研究委員会幹事会 議事録（案）

資料 2-1：土木計画学研究委員会「都市間旅客交通研究小委員会」の設置申請

資料 2-2：交通まちづくりミニセミナー「交通まちづくりの聖地 ーストラスプールのまちづくりー」

資料 3：計画学一般向け HP 開設に向けて

資料 4：土木計画学研究委員会国際セミナーについて（報告）

資料 5：平成 25 年度土木学会全国大会研究討論企画について

資料 6：土木計画学研究委員会活動の長期的戦略検討課題について＜最終報告骨子（案）＞

資料 7：第 47 回土木計画学研究発表会（春大会）企画概要

資料 8：土木計画学研究発表会 2013 年度秋大会（第 48 回）の準備状況

資料 9：土木計画学研究委員会規則 改正

資料 10：学術小委員会報告

資料 11：2013 春大会 in 広工大作業準備タイムテーブル

■議事（案）

1. 前回幹事会議事録の確認（資料 1）

- ・ 前回委員会の議事録について確認がなされ，原案通り了承された。

2. 平成 24 年度幹事担当タスクの検討状況報告

（1）活動評価・中期目標

- ・ 事務局より，近く学会本部から 24 年度の事業計画及び評価，次年度（25 年度）の事業計画の作成依頼があるとの報告があった。塚井委員兼幹事を中心に，とりまとめることになった。

（2）本委員会対応

- ・ 兵藤幹事長より，本委員会は春大会 1 日目の昼休みに開催することが報告された。なお，会議室の予約，出欠の確認，弁当の手配については，従来通り，本委員会担当幹事が行うことが確認された。

（3）研究小委員会対応

1) 東日本大震災特別小委員会

- ・ 兵藤幹事長より，安全問題委員会と合同で取り組んできた特別研究課題の成果の場として，3 月 28 日に土木学会でシンポジウムを開催し，50 名くらいの参加があったことが報告された。

2) 都市間旅客交通研究小委員会（資料 2-1）

- ・ 塚井先生（小委員会事務局長：予定）より，小委員会設置申請について説明があった。
- ・ 博士課程の学生を委員に加えていることについて，特に問題ないことが確認された。

- ・ 申請では設置期間を4年としていたが、小委員会の設置期間は3年が原則であり、3年に修正することとなった。
- ・ 小委員会の期間について、本委員会で承認されてから3年（公募期間も含める）を原則とすることが確認された。また、各小委員会において、HPを作成することとなった。

3) 交通まちづくりミニセミナー（資料2-2）

- ・ 山中先生より、交通まちづくりの実践研究小委員会のセミナーとして開催することが報告された。
- ・ IPメールで案内するとともに、HPではその他行事に掲載することとなった。

(4) HP担当（資料3）

- ・ 紀伊委員兼幹事より、一般向けページの作成状況について報告があった。
- ・ 「土木計画学の多様な分野」について、キーワードを説明する原稿の作成を会員を中心に依頼することが、幹事会として了承された。
- ・ 各分野のとりまとめ担当幹事は、A：三輪先生、B：紀伊先生、C：鈴木先生、D：平田先生、E：日比野先生である旨、補足説明があった。
- ・ 各小委員会による「多様な分野」を紹介するコーナーを設けた方がよいとの意見があり、Fとして追加することとなった。
- ・ 以上を踏まえ、委員長名で執筆依頼を行うこととなった。
- ・ HP上の研究室リストについて、更新することとなった。

(5) 国際セミナー（資料4）

- ・ 吉田委員兼幹事より、開催状況について報告があった。
- ・ セミナー開催後について、現在は特に報告を求めているが、今後はプログラムと参加人数を報告してもらうこととなった。
- ・ Certificate（英文）について、今後、事務局が対応することとなった（担当幹事から事務局へフォーマットを送付）。

(6) 国際センター

- ・ 担当幹事からの報告はなかった。
- ・ 溝上小委員長より、英文論文集の動向について質問があり、事務局において、刊行スケジュール、特集号の扱いについて確認することとなった。
- ・ 事務局より、英文HPについて、今後常設委員会にも開設の要請が来る可能性があることが報告された。HP担当幹事において、すぐ対応できるページを作成し、次回報告することとなった。

(7) ワンデイセミナー・シンポジウム

- ・ 塚井委員兼幹事より、次回までに整理、報告したいとの説明があった。

(8) 全国大会研究討論会（資料5）

- ・ 金子委員兼幹事より、地下空間研究委員会との共催の経緯、討論内容などについて報告があった。
- ・ 座長及びパネリストへの謝金は、諸税（復興税含む）を加算した額とすることとなった。

3. 学術小委員会報告（資料10）

- ・ 溝上小委員長より、論文集 Vol.30 の応募状況、査読依頼の状況などについて報告があった。
- ・ 査読者名簿の更新作業の負担が大きいために課題として示された。
- ・ 事務局より、土木学会の会員情報については、変更があった場合には会員本人が申請する必要があること、この情報は委員会システムとはリンクしていないこと、委員会・小委員会の委員等の情報は事務局が更新しているが、査読者全てをカバーできるわけではないことなどの説明があった。
- ・ 今後、論文投稿システムの情報の活用など、業者を交えて検討することとなった。

（資料の訂正）

6. 第48回土木計画学研究発表会 2013 秋大会
7. 第49回土木計画学研究発表会 2014 春大会
8. 第50回土木計画学研究発表会 2014 秋大会 2014年11月1日～3日

4. 研究発表会の準備状況について

(1) H25 春大会 (資料 7, 資料 11)

- ・ 柿本小委員長より、セッション数、発表件数などの状況について報告があった。
- ・ ポスターセッションについて、セッション数は減少しており（今大会は1セッション）、今後廃止したいこと、併せてポスター用のパネルを処分したいことが提案され（パネルは現在、京大に保管中）、幹事会として了承された。なお、今大会での取り扱いについては、開催校で検討することとなった。
- ・ 今後の懸念事項として、CD-ROM の容量問題（現行は1編 3MB 以下で約 400 編を収めているが、早晚超過する可能性がある）が提起された。対策として 2 枚組、DVD 化があるが、費用面から 2 枚組が望ましいことが示された。
- ・ 26 年度春大会は東北工業大学に打診していること、次期小委員長には轟先生（日本大学）、副委員長には吉武先生（九州工業大学）が内定していることが報告された。
- ・ 開催校担当の塚井先生より、準備状況について報告があった。
- ・ 公共政策デザインコンペは 13 件と多いがスペース上問題ないこと、学生アルバイトについて、2 年前より各部屋 2 名配置されているが、今大会は 1 名として 40 名以下で対応すること、昼食会場は学食のみであり、日曜日は休業のため弁当を予約してもらいたいことなどが報告された。

(2) H25 秋大会 (資料 8)

- ・ 開催校代表の内田先生より、準備状況について報告があった。
- ・ 懇親会は 1 日目の 11 月 2 日に開催し、軽食中心とする方向で検討していることが報告された。
- ・ 大阪観光コンベンション協会への後援申請は、委員長名で行うことが確認された。
- ・ 後援内容として、地図やガイドブックの他、外国人が 50 名以上（留学生含む）参加した場合、酒代（8 万円）が支給されることから、前向きに対応していくことが確認された。
- ・ 開催校 HP は設けず、委員会 HP に必要事項を掲載し、ダウンロードできるようにすることが提案され、幹事会として了承された。
- ・ 災害時対応として、避難場所の周知が必要であるとの指摘があり、HP で掲載するなど対応いただくこととなった。

5. 平成 25 年度の幹事会タスクについて

(1) 「あり方」小委員会からの報告 (資料 6)

- ・ 山中小委員長より、これまでの議論の内容について報告があった。
- ・ 主な意見として、土木計画学の範囲が広がっておりコア科目を決めることは難しいこと、教育内容の共有は重要であること、外部の意見も踏まえ長期的な課題の検討が重要であることなどがあった。
- ・ 成果について、春大会までに HP に掲載する予定であることが報告された。

(2) 土木学会・国際化への対応について

- ・ 福田副委員長より、ハノイ交通技術大学で講義を行う準備を進めていること、アセアンの大学での日本との学術交流の実績や特別講義などの実施の実績を調査する準備を進めていることなどが報告された。

(3) 細則の改正 (資料 9)

- ・ 兵藤幹事長より、規則は 3 月 15 日の理事会で承認されたこと、細則は 6 月の委員会に諮ることが報告された。
- ・ 細則について、鈴木先生と吉田先生が内容を確認することとなった。
- ・ 資料 p.11 (3) の「指名」、「推薦」の整合性について確認する必要性が指摘され、実態に即した文言の修正を行うこととなった。

6. その他

- ・ 兵藤幹事長より、次期幹事長として多々納先生（京都大学）が内定していることが報告された。

以上
文責 金子雄一郎